



報道関係者 各位

令和6年4月25日

【照会先】

徳島労働局労働基準部健康安全課  
課長 岡崎 正憲  
主任地方産業安全専門官 渡辺 孝行  
(電話) 088-652-9164

## 令和5年の労働災害発生状況について

～死亡者数は前年（令和4年）より3人減の6人、

休業4日以上之死傷者数は前年（令和4年）より879人減の1,160人～

徳島労働局（局長 竹中郁子）では、このたび令和5年1月から同年12月までの労働災害発生状況を取りまとめました。

労働災害を少しでも減らし、安心して健康に働くことができる職場の実現に向け、「徳島第14次労働災害防止推進計画」（以下「14次防」という。）の取組を継続していきます。【別紙1】

### 1 死亡者数

死亡者数は、前年より3人減の6人となった。建設業で2人、林業で1人、第三次産業で3人（小売業で2人、小売業以外で1人）発生した。

### 2 新型コロナウイルス患者を含む休業4日以上之死傷者数

(1) 新型コロナウイルス患者を含む休業4日以上之死傷者数は前年（2,039人）から879人減少し1,160人（対前年比-43.1%）となった。

(2) 主な業種の災害発生状況（人）

業種	令和4年	令和5年	対前年比
食料品製造業	75	50	-33.3%
化学工業	31	27	-12.9%
金属製品製造業	24	12	-50.0%
建設業	198	125	-36.9%
道路貨物運送業	93	74	-20.4%
小売業	110	80	-27.3%
医療保健業	631	232	-63.2%
社会福祉施設	475	224	-52.8%

別添資料【別紙2-①】【別紙2-②】

### 3 新型コロナウイルス患者を除く休業4日以上之死傷者数

- (1) 新型コロナウイルス患者を除く休業4日以上之死傷者数について、業種別では前年(914人)から118人減少し796人(対前年比-12.9%)となり、令和元年に次ぐ低い数値となった。
- (2) 主な業種の災害発生状況(人)

業種	令和4年	令和5年	対前年比
食料品製造業	66	43	-34.8%
化学工業	21	26	+23.8%
金属製品製造業	23	12	-47.8%
建設業	135	125	-7.4%
道路貨物運送業	85	74	-12.9%
小売業	108	77	-28.7%
医療保健業	50	36	-28.0%
社会福祉施設	75	72	-4.0%

新型コロナウイルス患者を除く死傷者数では、木材木製品製造業が前年比6人増、化学工業が前年比5人増などとなっています。【別紙2-③】

また、年齢別では、全業種において50歳以上の労働者の災害の割合が過半数を占めている状況がみられました。このことからあらゆる機会を通じて【別添】「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」の周知啓発を行うこととしています。【別紙2-④】

全業種での事故の型別でみると、「転倒災害」が最も多くなっています。「転倒災害」については、業種別でみると製造業、商業、保健衛生業での発生割合が高く、傷病の程度でみると休業見込み1か月以上の災害も発生しています。こうした状況を踏まえ、転倒や腰痛などの行動災害を予防するため、取組を強化することとしています。【別紙2-⑤】

